

大菩薩峠 第二部（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1958/04/21

【解説】
中里介山の大河時代小説を前作と同じスタッフ・キャストで映画化した第二部。数ある映像化作品の中でも、この内田吐夢版は最高傑作の呼び声が高い。前作に引き続き片岡千恵蔵が剣の道を踏み外していく主人公を熱演している。
両眼の視力を失った机龍之助はお豊に助けられ、彼女の夫を斬り殺すとお豊と二人で伊勢に逃げた。お豊は龍之助の眼の治療代を稼ぐため旅籠備前屋に住み込みで働くが、旗本の神尾主膳に処女を奪われ自害。お豊の遺書を預かった芸人お玉は主膳の印籠を盗んだ疑いで追われる身となり、それを助けた曲芸師の米友は崖から突き落とされそうになる。米友は自ら海中に身を投げ七兵衛に助けられるが、その七兵衛こそ窃盗の真犯人だった。お豊の死を知った龍之助は虚無僧姿で旅を始め、その後を宇津木兵馬が追うのだった。

【クレジット】
監督 内田吐夢
製作 大川博
企画 玉木潤一郎
南里金春
原作 中里介山
脚本 猪俣勝人
柴英三郎
撮影 三木滋人
美術 鈴木孝俊
編集 宮本信太郎
音楽 深井史郎
助監督 大西秀明
倉田準二
本田達男
出演 片岡千恵蔵 机龍之助
中村錦之助 宇津木兵馬
長谷川裕見子 お浜
月形龍之介 裏宿の七兵衛
浦里はるみ お絹
丘さとみ お松
山形勲 神尾主膳
岸井明 与八
木暮実千代 お徳

市川小太夫	与兵衛
里見浩太郎	望月新太郎
加賀邦男	米友
星美智子	お玉
東千代之介	駒井能登守
片岡栄二郎	金蔵
左ト全	道庵
上田吉二郎	善市
沢村貞子	お角
河野秋武	がんりきの百蔵
香川良介	望月宗兵衛
植木義晴	蔵太郎
水野浩	金六
阿部九州男	浦部勘兵衛